ひとこと多い張り紙ワークショップ マニュアル

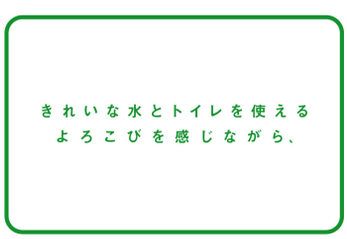
◯概要

SDGs や世界の現状について、深く理解していただくためのワークショップ・プログラムです。身近にある『張り紙』をきっかけに、「世界の現状」を自分ごと化していただくことができます。一見すると何のつながりもないような「張り紙」と「世界の現状」をつなげることで、私たちの日常と世界の現状とのつながりを見つけるきっかけになるはず。
SDGs をまったく知らない人でも楽しみながら知識を深めることができるプログラムもあります。授業や研修、イベントなど、さまざまなシーンでご活用ください。
カードで使用している数字などは、JANIC が 2016 年に発行した「世界で活躍する日本の NGO ガイドブック」掲載時のものになります。

◯用意するもの

□マジックペン　　□白紙カード (※)

□「ひとこと」カード (※)

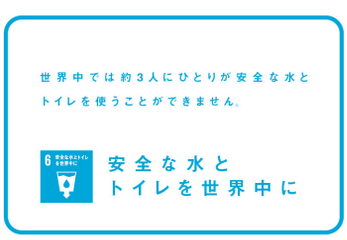


「世界の現状」カードと「張り紙」カードをつなげる「ひとこと」が書かれたカード。

□「張り紙」カード (※)

日常的によく見かける「張り紙」の言葉が書かれたカード。

□「世界の現状」カード (※)



SDGs で掲げられている 17 目標それぞれにまつわる「世界の現状」が書かれたカード。

※各種カードは別途ダウンロード可能

◯３つのステップ

ワークショップには、それぞれ難易度が異なる３つのステップがあります。SDGs の理解度によっては STEP.2 や STEP.3 から始めても構いません。

STEP.1 ▶ **STEP.2** ▶ **STEP.3**

３枚１組のカードを組み合わせて「ひとこと多い張り紙」をつくります。

「世界の現状」と「張り紙」をつなげる「ひとこと」を自分で考えていきます。

「張り紙」の言葉を考えることで、「世界の現状」に対するアクションを具体化していきます。

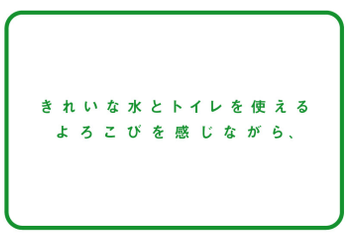
STEP.1　ひとこと多い張り紙を組み立てよう

《概要》

ステップ１では、バラバラになった「ひとこと多い張り紙」を組み合わせてつくっていきます。パズル感覚でできるゲームにすることで、「ひとこと多い張り紙」の構造を理解していくプロセスです。ふだん見かける張り紙を通じて、日常生活と世界の現状を結びつけて考えるトレーニングをしていきます。

◯使うもの

□「ひとこと」カード

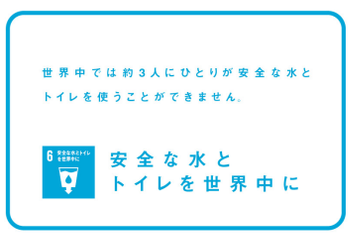


「世界の現状」カードと「張り紙」カードをつなげる「ひとこと」が書かれたカード。

□「張り紙」カード

日常的によく見かける「張り紙」の言葉が書かれたカード。

□「世界の現状」カード



SDGs で掲げられている 17 目標それぞれにまつわる「世界の現状」が書かれたカード。

◯手順

1	３～６人のグループでテーブルごとに座る。	準備
2	各テーブルの上に「ひとこと」カード ×17、「張り紙」カード ×17、「世界の現状」カード ×17（合計 51 枚）をランダムに並べる。	準備
3	３種類のカードを組み合わせて「ひとこと多い張り紙」をつくる。 大事なのはチームでディスカッションをすること。「なにを思ってその組み合わせにしたのか？」を話し合うことで、世界の現状についてさまざまな角度から考えていきます。	チーム作業 （20 分）
4	実際の「ひとこと多い張り紙」と見比べる JANIC のホームページをご覧ください。「ひとこと多い張り紙」はフリーダウンロードツールとして配布中です。	全体 （10 分）
5	実際と違った組み合わせがあった場合、その過程を全体で共有 カードの組み合わせに正解はありません。予想外の組み合わせが生まれても、その考えを聞くことでさまざまな視点を共有してみてください。	全体 （15 分）

※時間は目安です

STEP.2　「ひとこと」を書いてみよう

《概要》

ステップ２では、見慣れた張り紙にひとことを付け加えていくことに挑戦します。世の中へのメッセージを自分で考えることで、SDGs という目標を当事者視点から考えてもらいます。「SDGs を達成するために世の中に何を呼びかけますか？」と問いかけることで SDGs を自分ごと化してもらいます。

◯使うもの

□「ひとこと」カード（白紙）

白紙になっている「ひとこと」カード。記入式になっています。

□「張り紙」カード

日常的によく見かける「張り紙」の言葉が書かれたカード。STEP.2 では追加カードも使います。

□「世界の現状」カード

SDGs で掲げられている 17 目標それぞれにまつわる「世界の現状」が書かれたカード。STEP.2 では追加カードも使います。

◯手順

1	各テーブルに 「張り紙」カード、「世界の現状」カードをランダムに並べる。 このとき、それぞれの追加カードも加えましょう。	準備
2	「張り紙」カード、「世界の現状」カードを、それぞれ１枚を選ぶ。	個人作業 （20 分）
3	２. で選んだカードと３枚１組となって「ひとこと多い張り紙」が完成するように、白紙カードに「ひとこと」を書き込む。 張り紙と世界の現状のあいだに見つけた自分なりのつながりを言葉にしてみてください。 大切なのはうまいこと言うことではありません。言葉を飾り立てるのではなくそのままの言葉を書いてみてください。	
4	それぞれが作った「ひとこと多い張り紙」をチーム内で発表。 「なぜそのひとことにしたのか？」「どういう思考プロセスでそこに至ったか？」を共有していきましょう。	チーム作業 （10 分）
5	各チームから生まれた「ひとこと多い張り紙」を全体で共有。	全体 （15 分）

※時間は目安です

STEP.3　「アクション」を呼びかけてみよう

《概要》

ステップ３では「張り紙カード」も白紙にしていきます。呼びかける言葉に加え、SDGs 達成のための具体的なアクションを考えることで、すぐにできるアクションを自ら世の中に提案することをシュミレーションしていきます。

○使うもの

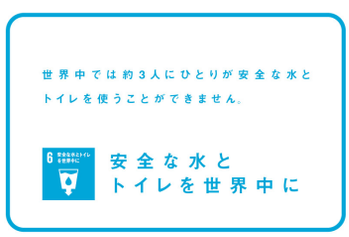
□「ひとこと」カード（白紙）

白紙になっている「ひとこと」カード。記入式になっています。

□「張り紙」カード（白紙）

白紙になっている「張り紙」カード。記入式になっています。

□「世界の現状」カード



SDGs で掲げられている 17 目標それぞれにまつわる「世界の現状」が書かれたカード。STEP.3 では追加カードも使います。

○手順

1	追加カードも加えた、すべての「世界の現状」カードをテーブルに並べる。	準備
2	２枚の白紙カードに「ひとこと」と「張り紙の言葉（アクション）」を書き込み、 ３枚１組の「ひとこと多い張り紙」を完成させる。 「張り紙」の言葉も考えることで、具体的なアクションを考えるきっかけをつくります。張り紙の向こうにいる人の顔を思い浮かべていただくと良いでしょう。	個人作業 （20 分）
3	それぞれが作った「ひとこと多い張り紙」をチーム内で発表。	チーム作業 （10 分）
4	各チームから生まれた「ひとこと多い張り紙」を全体で共有。	全体 （15 分）
5	完成した「ひとこと多い張り紙」をフリーフォーマットに書き込む。 JANIC のホームページをご覧ください。「ひとこと多い張り紙」のフリーフォーマット版は、フリーダウンロードツールとして配布中です。	個人作業 （5 分）

※時間は目安です